

平成 31 年 3 月 28 日

## 障害児通所支援事業に係る自己評価結果公表について

児童発達支援ガイドライン及び放課後等デイサービスガイドラインに基づき、下記の事業所において「保護者向け自己評価表」「事業者向け自己評価表」による自己評価を実施いたしましたので、その集計結果を公表いたします。

評価を踏まえて、今後も改善策を考え、皆様にご満足いただけるサービス提供に努めていきます。

### 【 自己評価結果公表 】

- 児童発達支援センター 輝なっせ
- 放課後等デイサービス事業所 輝なっせ
- 多機能型支援事業所 笑みっこ

社会福祉法人 菊愛会  
障害児通所支援事業部

児童発達支援自己評価表（事業所職員向け）

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	改善目標、工夫している点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	3		・集まりの場では、スペースがないように感じる。
	②	職員の配置数は適切である	5	2		・配置基準を満たしている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	2		・バリアフリー化されている。 ・構造化できていない部分がある。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	1		・毎日、掃除して環境を整え、気持ちよく過ごしてもらえるようにしている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	3	1	・PDCAサイクルを意識した取り組みになっていない。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	3		・満足度調査、利用意向等のアンケートを実施している。 ・アンケート結果から十分な業務改善につながっていない。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	4		・できていないため、今後情報を開示していく。 ・質の向上を求められているが、アドバイス等がない。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	3		・第三者による外部評価を実施し開示している。 ・改善までつながっていない部分がある。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0		・外部、内部研修を実施している。 ・圏域のスキルアップ研修会に参加している。 ・他事業所に現場実習を実施している。
適切な支援の提供	⑩	zi	4	3		・ご家族の方のニーズを踏まえて支援計画を作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3		・契約時に、アセスメントの資料を渡し記入してもらっている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		・各項目を意識しながら具体的に支援内容を設定している。 ・各項目に対して、具体的な支援内容が適切であるかを児童発達支援ガイドラインを用いて確認している。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	1		・意識しながら支援を行っている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2		・スタッフ間で話し合いながら立案できている。 ・立案あるスタッフが固定化されているようにも感じるときがある。

	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなプログラムを取り入れている。</li> <li>・活動の柱が固定化されているように感じる。 (制作、感覚統合あそび、プール、屋外活動等)</li> </ul>
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々に応じて対応できている。</li> <li>・意識して作成している。</li> </ul>
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育前に、打ち合わせを行っている。</li> <li>・正職、非正職の出勤時間が異なり、毎回役割分担ができていないときがある。</li> </ul>
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育後に振り返りを行い、職員間で情報共有を図っている。</li> <li>・継続的に実施できていないときがある。</li> </ul>
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りでの意見を記録をとっている。</li> <li>・検証まで至っていない部分がある。</li> </ul>
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族の方との面談にて同意を得ている。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各担当者で参加している。</li> </ul>
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者が各関係機関と連携している。</li> </ul>
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引っ越し等で他県や他市町にいかれる場合は、必要書類を作成している。</li> </ul>
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族の方と一緒にサポートブックを作成している。</li> <li>・特別支援学校のオープンスクールに同行し、情報交換を行っている。</li> </ul>
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門機関の定期支援を受けている。（保育士、ST、OT）</li> <li>・定期的に、圏域のスキルアップ研修会を実施している。（平成30年度は、当事業所が事務局として実施した）</li> </ul>
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の保育園等と交流できる機会を持つことができていない。</li> </ul>
	27	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者が会議に参加している。</li> </ul>
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子療育を通して、情報共有を図っている。</li> </ul>
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種、様々な勉強会を実施している。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に説明している。</li> </ul>
	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談を行い、ご家族の方から同意を得ている。</li> </ul>

保護者への説明責任	③②	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1	・親子療育の中で、ご家族の方と話す時間を設け、相談に応じている。
	③③	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	1	・定期的に、企画型や勉強会や茶話会等を実施している。
	③④	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	・契約時に相談等の対応について説明している。
	③⑤	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	・毎月おたよりを配布している。 ・SNSを用いて情報発信を行っている。
	③⑥	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	・個人情報同意書を作成して、同意を得ている。
	③⑦	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	・子どもさんの特性、ご家族の方の性格等を把握して配慮している。
	③⑧	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	2	
	非常時等の対応	③⑨	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	0
④⑩		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	・定期的に地震、火災、不審者を想定した訓練を実施している。
④⑪		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	・アセスメントで、聞き取りを行っている。
④⑫		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	5	・アセスメントで、聞き取りを行っているが、対象児がいないため、医師の指示書に基づく対応をしていない。
④⑬		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	・リスクマネジメント委員会を設置している。
④⑭		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	・法人の虐待防止委員会がせっちしてあり、定期的な研修に参加している。
④⑮		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	1	6	・身体拘束を行う対象児がいないため、行っていない。

**児童発達支援自己評価表（保護者向け）**

契約者数：63名 回収数：21名 割合：33%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	①	子ども活動等のスペースが十分に確保されているか	19	0	0	1	・常にスペースが確保できるように環境を整えます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	1	0	3	・スタッフ紹介を配布させていただきますので、ご確認くださいと思います。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じて、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17	1	0	1	・活動をエリアごとにわけたり、先の見通しと何をすればいいか分かるように視覚的に提示しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18	0	0	0	
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	17	1	0	1	・ニーズ票を基に分析し、個別支援計画書を作成するよう努めます。また、個別支援計画書の面談の際に、より丁寧にご説明いたします。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16	1	0	2	・個別支援計画書の面談の際に、より丁寧にご説明いたします。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	1	0	1	・個別にご説明させていただきます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	16	2	0	1	・常に「楽しい」と感じられるように、プログラムの工夫に努めます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	3	1	7	・交流できる機会をもてるように支援の充実に努めます。
保護者への説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	1	0	1	・利用契約時に、より丁寧に説明するよう努めます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	18	0	0	1	・より丁寧に説明するよう努めます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	12	4	0	3	・しようとして、そのままになっている ・地域療育センターと連携し、計画していきます。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	18	0	0	1	・親子療育の中で、子どもさんとご家族の方の困り感に寄り添いながら信頼関係を構築するよう努めます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	0	0	0	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	1	0	4	・各種勉強会、茶話会、企画型等実施しています。より分かりやすく周知していきますので、ご参加ください。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19	0	0	0	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	1	0	0	・親子療育のスケジュールで、ご家族の方と話す時間を設け、情報交換等に努めています。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14	1	0	5	・毎月のおたよりの中で、活動内容や企画型を周知しています。また法人のホームページで第三者評価結果票及び自己評価表を公開Facebookで活動内容を公開していますので、ご覧ください。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	16	0	0	3	・年度ごとに、個人情報使用同意書を得ていますが、より丁寧に説明するよう努めます。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	13	2	0	4	・要望に応じて閲覧できるように常設しています。また、年度末の保護者説明会でより分かりやすく説明するよう努めます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	2	0	4	・様々な事を想定した各種訓練を行っています。情報発信に努めます。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	18	1	1	0	・常に「楽しい」と感じられるように、プログラムの工夫に努めます。また、安全に安心して利用できるように努めます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	17	2	0	0	・平成31年度放デイの送迎の変更が急だったことが少し残念であった。 ・変更点が生じる場合は、早めに周知に努めます。

\* 赤文字は、ご回答に対する改善目標を記載しました。